

公益財団法人 阪和育英会

我が国社会に 有為な人材を育成したい

創設者 北二郎



公益財団法人 阪和育英会は、当会の支援会社である阪和興業株式会社の会社創立10周年記念事業として1957年4月に設立されました。設立当時は戦後10年以上が経過し経済的、社会的基礎が固まったとはいえ、国民生活の水準はまだ低く、子弟の教育は家庭に大きな負担であり、向学心旺盛で優秀な人材の多くが経済的な理由で安んじて勉学に励む環境ではありませんでした。

阪和興業の創業者で、当会の初代理事長であった北二郎は自身が進学に当たり苦学した体験があり、奨学金を出して経済的軽減を図り、「我が国社会に有為な人材を育成したい」との念願で、当時会社の資本金が僅か1億円の際に、1,000万円を投じて当会を設立いたしました。北二郎は、設立後も阪和育英会の発展に尽力し続け、その結果、今日までに1,000名を超える奨学生に奨学支援をすることができました。

近年の我が国は経済的には豊かな社会になっていますが、他方で格差の拡大、社会道徳の退廃、教育

水準の低下、社会人としての自覚の欠如などが問題視され、教育の再生についての議論が沸騰しています。次代を担う若い人たちに、日本人として、21世紀のグローバルな国際社会の中で政治・経済・文化について確固たる見識を身に付け、世界各国の優秀な若者に伍していける人材になっていただきたいと願っています。

2011年4月1日に公益財団法人となった当会は、創設者の理念を大切にしながら、新公益法人制度の趣旨に則り、民間の奨学財団としての特色を生かしてさらに事業を発展させてまいります。

その一環として、2015年度からは1人100万円の給付型の海外留学奨学金制度を発足させました。国際化がますます進む中、日本人の留学者数が減少していますが、一人でも多くの意欲と能力のある学生が海外留学を通じて視野を広げ、知識を磨き、人脈を築いて、将来海外で大いに活躍できる人材と成長するための支援を続けていきたいと考えています。

阪和育英会 奨学生からのコメント

東京大学 法学部4年

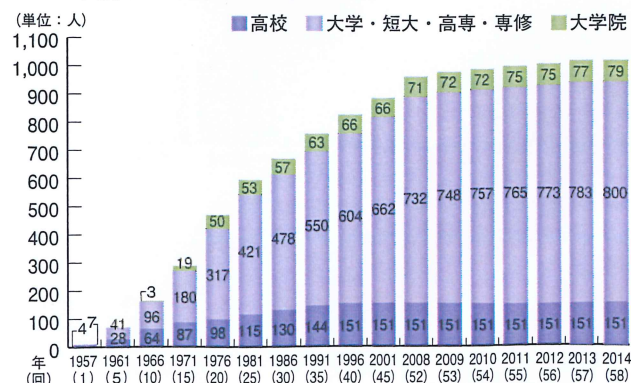
木下 魁さん

私は現在法学部に所属し、法律や政治をはじめとして広く社会の仕組みを学んでいます。また入学時より体育会のラグビー部にも所属し、文武両道を合い言葉に、日々学業と部活動の両立に取り組んできました。そのため1年次には時間的・体力的な制約からアルバイトを十分にできず、生活費の捻出に悩んでいましたが、そのような折に貴会の奨学生募集の案内を拝見しました。採用していただいたことで、自らの挑戦を続けさせていただき、大変感謝しています。現在は勉学とラグビーの双方に打ち込み、非常に充実した毎日を送らせていただいています。今後も貴会の温かい社会貢献活動によって、多くの学生が金銭的な障害を乗り越えて、各々の目標に挑戦できることを心より願っています。

50年超の実績と広がる輪

阪和育英会の正味財産は2014年度で5億8,170万円、奨学生数は累計で、大学院生79名、大学生等800名、高校生151名、総計1,030名となっています。新しい試みとして、外国の大学へ留学する学生に向けての支援活動を始めました。

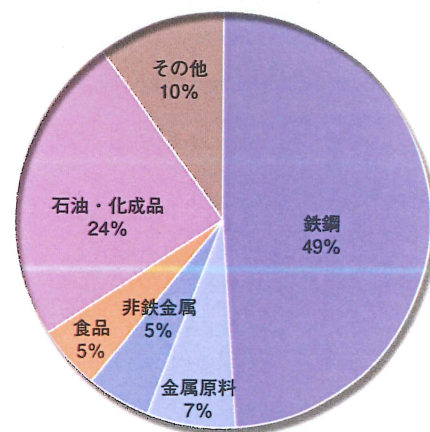
2014年度までの奨学生数の累計



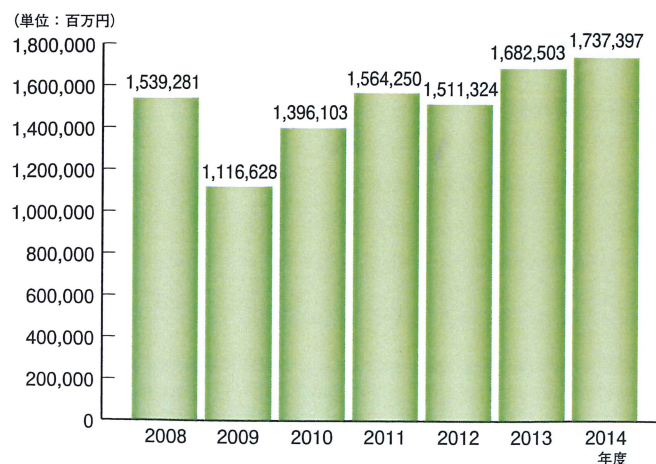
会社概要 (2015年4月1日現在)

商号	阪和興業株式会社
代表者	代表取締役会長 北 修爾 代表取締役社長 古川弘成
設立	昭和22年(1947年) 4月1日
資本金	45,651百万円
連結従業員数	2,772名 (2015年3月31日現在)
営業品目	鉄鋼、鉄鋼原料、建材、非鉄金属、金属原料、特殊金属、機械、石油、化成品、食品、木材、セメント等の国内販売及び輸出入
国内事業所	大阪本社、東京本社、名古屋支社、北海道支店、東北支店、東北支店八戸事務所、新潟支店、中国支店、九州支店、北関東営業所、水戸営業所、いわき事務所、北陸事務所、厚木営業所、静岡営業所、岡山営業所、福山営業所、沖縄営業所
海外事業所	〔北米・南米〕 ニューヨーク、シアトル、ヒューストン、ロサンゼルス、シカゴ、サンディエゴ、バンクーバー、グアム、メキシコシティ、セラヤ、ボゴタ、サンティアゴ 〔アジア〕 北京、天津、上海、香港、大連、青島、重慶、福州、広州、中山、東莞、武漢、太倉、江西、台北、高雄、ソウル、釜山、バンコク、チョンブリ、ヤンゴン、シンガポール、ハノイ、ホーチミン、クアラルンプール、ジャカルタ、ムンバイ、ニューデリー、チェンナイ 〔欧州・中東他〕 ロンドン、ウィーン、アムステルダム、イスタンブール、クウェート、リヤド、ジェッダ、ダンマン、ドバイ、ヨハネスブルグ
主な国内関係会社	阪和流通センター東京(株)、阪和流通センター大阪(株)、阪和流通センター名古屋(株)、エスケーエンジニアリング(株)、(株)ハロース、阪和スチールサービス(株)、阪和エコスチール(株)、すばる鋼材(株)、三栄金属(株)、昭和メタル(株)、トーヨーエナジー(株)、(株)トーハンスチール、正起金属加工(株)、丸本本間水産(株)、ハンワフーズ(株) 他
主な海外関係会社	HANWA AMERICAN CORP. 阪和(香港)有限公司、阪和(上海)管理有限公司 長富不銹鋼中心(蘇州)有限公司 HANWA THAILAND CO.,LTD. HANWA STEEL SERVICE (THAILAND) CO.,LTD. HANWA SINGAPORE (PRIVATE) LTD. HANWA CANADA CORP.、阪和鋼板加工(東莞)有限公司 PT.HANWA STEEL SERVICE INDONESIA 他

部門別売上高構成比
(2014年4月1日～2015年3月31日)



連結売上高推移



連結経常利益推移・連結当期純利益推移



編集方針

本報告書は、阪和興業の企業理念に基づく社会的責任に対する姿勢と行動、環境方針に基づく環境負荷低減への目標設定と達成への努力及び環境に関わる事業・取扱商品を、ステークホルダーの皆様へ率直かつわかりやすくお伝えするために作成いたしました。忌憚なきご意見を賜われれば幸いに存じます。

報告対象 阪和興業及び関係会社

対象期間 2014年4月1日から2015年3月31日 (一部記述には直近のトピックス、過去の経緯、実績、将来の見通しなどについても記載しています)

参考ガイドライン 環境省「環境報告ガイドライン」2007年版参照

2,000